



プログラマブル光エッジが実現する 低コストで省エネルギーな光ネットワーク

アラクサネットワークス株式会社、日本電信電話株式会社、学校法人慶應義塾

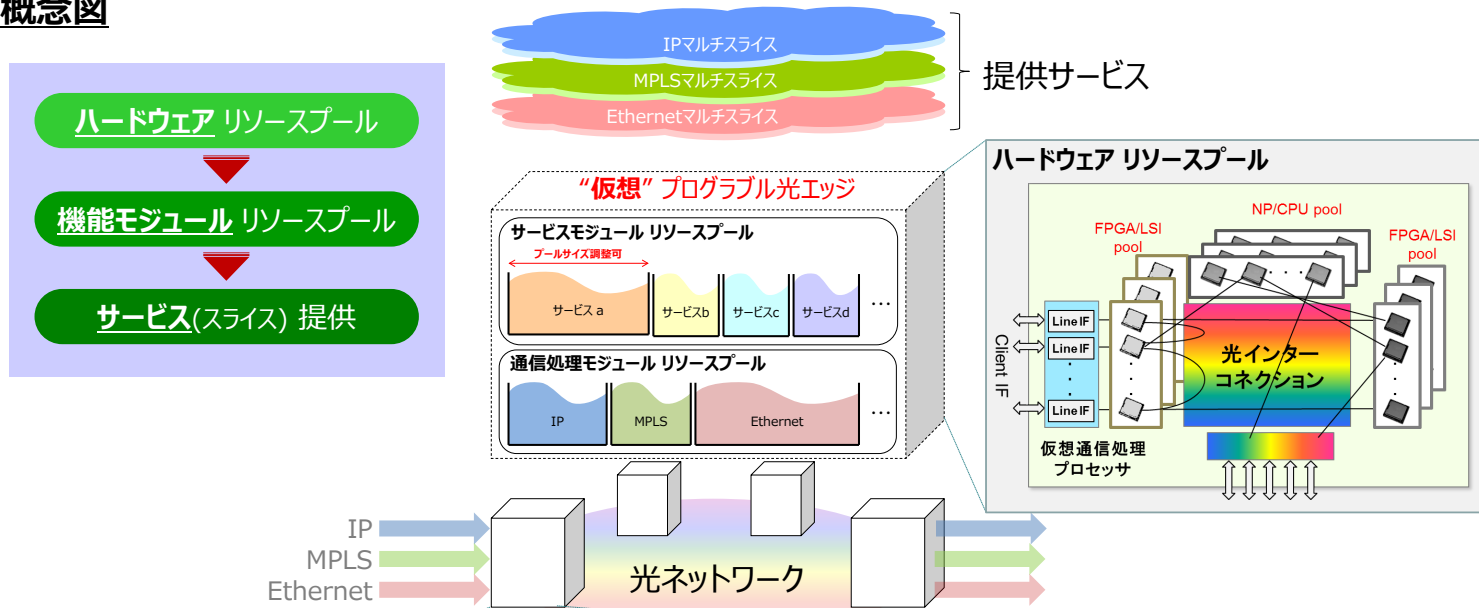
Alaxala

NTT

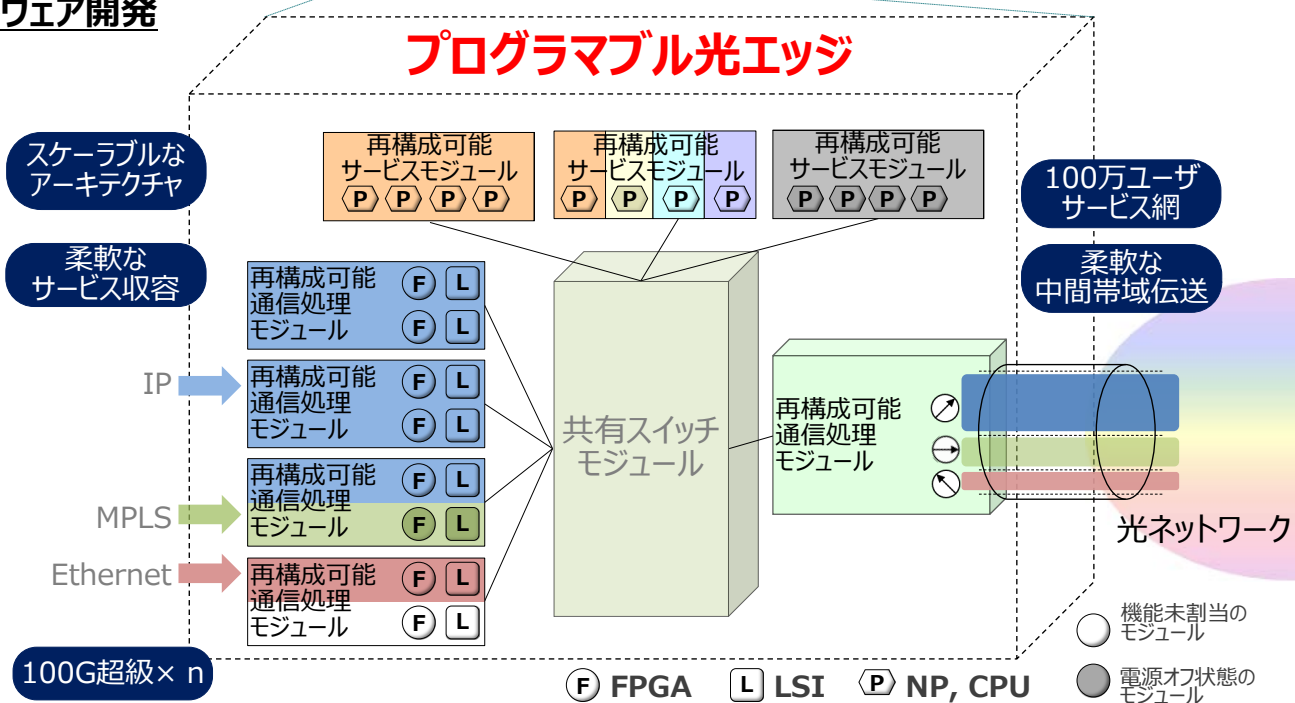
従来の光エッジ：サービス毎(IP, Ethernet 等)に専用の通信処理機能を備える必要性。

プログラマブル光エッジ：ハードウェア (FPGA/LSI/CPU 等) が有機的に接続された**再構成可能通信処理モジュール・サービスモジュール**の組合せにより1台に複数サービス収容が可能。さらに、光ネットワークを介して全ハードウェア・モジュールをリソースプール化。

概念図



ハードウェア開発



研究者名

理工学部 情報工学科 教授 山中 直明 (Yamanaka Naoaki)

お問合せ先

Mail : yamanaka@ics.keio.ac.jp

URL : <http://www.yamanaka.ics.keio.ac.jp>

本研究は、NICT委託研究「光トランスポートNWにおける用途・性能に適応した通信処理合成技術の研究開発」の成果です